

自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(家庭)
／渡邊 廣二

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

消費者教育の必要性は大きいにもかかわらず教材や授業案の開発は遅れている。そこで、中学校技術家庭の教科書と副読本を検討して、新たな教材開発に取り組む。

2. 点検・評価

指導要領や教科書の分析から、より実践的な活動を通して学習させる工夫の必要性が明確になったが、アイデアが不足しており科研費の申請に結びつけることができなかった。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

- ①コース定員充足率が当面50%を上回るようにしたい。
- ②学会開催の準備を行う過程で、知人の教員を通して院生募集の活動を行う。

2. 点検・評価

学会活動を通して院生の獲得に結びつけようとしたが、今年度は成果に結びつかなかった。しかし、本学学部生で卒論指導生1名が本学大学院への進学を決め、入試に合格してくれたが、これは日常的な指導の成果である。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ①学生が積極的に授業や卒業研究に取り組めるよう工夫する。
- ②学生が授業時間外にも質問できるようオフィスアワーを設定する。

2. 点検・評価

演習の授業において、学生と教員間の意見交換はかなり行えるが、学生間の意見交換は難しい。より興味を引くような題材を設定するようにしたい。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

- ①消費者教育に関する研究を進める。
- ②科研費補助金の申請を代表者として行う。

2. 点検・評価

実践的体験的な教材開発が必要であるが、その要請には残念ながら十分には応えられていない。今後も引き続いて努力したい。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①大学院教務委員会委員として委員会に出席し大学院の円滑な運営に貢献する
- ②コース長としてコース会議・部会議に出席し大学運営に積極的に関わる。

2. 点検・評価

コース長として、コースの運営に貢献した。とりわけ教員採用人事については適任者を得るために尽力した。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①附属学校との間で行われる教育研究活動には積極的に参加する。
- ②教育支援講師や公開講座講師の依頼には積極的に応じる。

2. 点検・評価

免許状更新講習の講師を努めた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)